

## 7. 第 15-16 回高木レクチャーについて

第 15 回高木レクチャー (2015 年 6 月, 仙台) の報告と第 16 回高木レクチャー (2015 年 11 月, 東京) の予定をお知らせいたします.

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は, 世界から卓越した数学者を日本に招聘し, 専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし, 創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき, 日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています. 高木レクチャーをもとにした研究総説は, 査読を経て *Japanese Journal of Mathematics (JJM)* に掲載されることになっています.

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が 2006 年 3 月 26 日 (日), 中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され, 2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されました. 以来, これまでに 15 回の高木レクチャーが開催されています.

第 15 回高木レクチャー (2015 年 6 月 27 日 (土) - 28 日 (日), 東北大学知の館) において, 日本数学会と東北大学大学院理学研究科数学専攻の主催, 東北大 WPI-AIMR の協力をいただいて,

- Vaughan F.R. Jones (Vanderbilt Univ.)  
「Knots and Groups (結び目と群)」,  
「Subfactors Knots and Physics (部分因子環, 結び目と物理)」
  - Anatoly Vershik (St. Petersburg Dept. of Steklov Inst. of Math. of RAS)  
「Invariant Measures, Exit Boundaries, Branching Graphs and Standardness of Filtrations (不変測度, 脱出境界, 分枝グラフとフィルトレーションの標準性)」
  - Cédric Villani (Univ. de Lyon · IHP)  
「Optimal Transport, Entropy and Curvature: The State of the Art (最適輸送, エントロピーと曲率: その最先端)」
- の 3 名による, それぞれ 2 時間ずつの講演が行われました.

参加者は 180 名を超え, 大盛況となりました. 当日には, 予稿の「高木ブックレット」(iv+137 頁) が配布されました. その最終版の研究総説論文は査読後, JJM に掲載される予定です. 講演のビデオは日本数学会情報システム運用委員会と東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ, web 上で一般公開する予定です.

第 16 回高木レクチャーは,

日時: 2015 年 11 月 28 日 (土) - 29 日 (日)

場所: 東京大学大学院数理科学研究科で開催されます. 今回は特に小平邦彦生誕百年記念事業と連動して, 以下の講演者による 2 時間ずつの講演を予定しています.

講演者:

- Fabrizio M.E. Catanese (Universität Bayreuth)
- Jean-Pierre Demailly (Université de Grenoble I)
- Masaki Kashiwara (柏原正樹氏) (RIMS, Kyoto University)
- Shing-Tung Yau (Harvard University)

高木レクチャーの HP

[http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi\\_jp/](http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/)

で最新情報を掲載いたします.

JJM は, 2006 年に 3rd Series として新しい創造を引き起こすような「研究総説論文」を掲載するジャーナルとして生まれ変わりました. 広く皆さまからのご投稿をお待ちしています. なお, 数学会会員は JJM の個別のバックナンバーを会員割引価格 7500 円 (+税 600 円) で日本数学会事務局より購入することも可能です.

(小林俊行 記)